

【別紙 2】

審査の結果の要旨

氏名 大西 麻未

本研究は、チームの有効性と関連することが推測される要因として、チームの外部環境との相互作用のマネジメントであるチームにおけるバウンダリーマネジメント(境界管理)及び革新的風土を取り上げ、1) 看護チームにおけるバウンダリーマネジメント及び看護チームの革新的風土の測定尺度を開発すること、2) 看護チームにおけるバウンダリーマネジメント及び革新的風土とチームの有効性の間の関連を明らかにすることを目的として、29 病院 231 部署 5809 名の看護師を対象に質問紙調査を行い、有効回答を得た 4788 名の分析から下記の結果を得ている。

1. 看護チームにおけるバウンダリーマネジメントを構成する尺度として、看護師長の役割行動尺度およびチームメンバーの情報収集活動尺度を作成した。看護師長の役割行動尺度は、「外部集団との関係統制と連携支援」「組織とチームの相互理解の醸成」「仕事に対する外的な指摘と協力の活用」の3つの要素で構成されていることが示され、両尺度ともに、信頼性・妥当性を有することが確認された。
2. 革新的風土の測定尺度として、Anderson& West(1998)の開発した Team Climate Inventory (TCI) 日本語版を作成した。これを用いて集団レベル変数合成の妥当性に関する基準を満たした 217 部署 4763 名を対象とした部署単位の解析により、看護チームにおけるバウンダリーマネジメント、革新的風土、有効性の間の関連を検討した。チームの有効性尺度得点を従属変数とした階層的重回帰分析を行ったところ、チームの有効性の3つの下位尺度全てにわたり、TCI 得点を投入することで調整済み R_2 が大きく上昇した。看護チームにおけるバウンダリーマネジメントは、チームの有効性と有意な関連を示さなかった。TCI の4つの因子はすべてチームの有効性と有意に関連しており、特に「参加的環境」とチームの有効性の間の関連が強いことが示された。変化や改善に対して積極的な風土のある看護チームは、より有効に機能を発揮していることが示唆された。
3. TCI 得点を従属変数とした重回帰分析の結果、看護チームにおけるバウンダリーマネジメントの各下位尺度は、TCI 得点と有意な関連を示し、特に看護師長の役割行動尺度は TCI の4つの因子すべてとの間で有意な正の関連を示した。看護師長による外部環境の評価や助言、期待、新しい知識や情報が得られているチームでは、より革新的な風土が醸成されており、このことがチームの機能の発揮に結びついている可能性が示唆された。

以上、本論文は、看護チームのバウンダリーマネジメント及び革新的風土の測定尺度を開発し、両尺度の信頼性・妥当性を示すとともに、バウンダリーマネジメントが革新的風土を介してチームの機能の発揮と関連する重要な要因であることを示した。本研究は、これまで有用な知見のほとんどなかった、看護組織の機能の評価や改善に重要な貢献をなすと考えられ、学位の授与に値するものと考えられる。